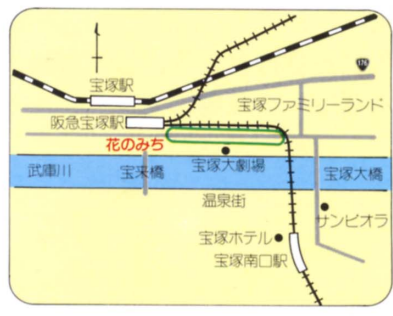


武庫川の旧堤防の一部。宝塚歌劇団の生徒が緑のはかまで花のみちを歩く姿は、まさにタカラヅカ独特の風物。



大正三年に始まった少女歌劇が発展するにつれ、JR宝塚駅から宝塚大劇場、宝塚温泉へかけての界限は急速に華やかさを増していった。

兵庫県宝塚市にある「花のみち」は、もともと武庫川の堤防の一部をなす美しいサクラの並木道であった。その後、宝塚歌劇や宝塚温泉が発展するに伴い、両側には少女歌劇場、活動写真館や温泉が建ち並ぶようになり、多くの観光客や浴客に混じって、緑の袴をはいた宝塚音楽学校の生徒が音楽学校や歌劇場へと通う姿は、宝塚独特の風物詩であった。

市では、この由緒ある並木道をさら

に美しく親しみのあるものにするため、昭和五九、六〇年度に改修工事を行った。この工事では、花や落ち葉を散りばめたような七色のインターロッキンググブロックで美しく歩道舗装を行い、ところどころには市花「すみれ」が描かれた平板を配置した。また、しゃれたベンチや街灯、案内板等も設置し、行きかう人々の目を楽しませ、安らぎを与える空間を創出している。

現在、この道は観光宝塚のシンボルの一つとなっており、多くの観光客や市民の憩いの場として親しまれるとともに、毎年春の交通安全パレードにも使用されている。



データボード②1

- ① 兵庫県宝塚市栄町1丁目
- ② 宝塚市役所 ☎0797-71-4111
- ③ 延長約420m、幅員約3m
- ④ インターロッキング舗装、ベンチ、案内板、方位盤等
- ⑤ 交通安全パレード